

パパ・ママ子育て知恵袋

第43回は「子どもが家にいる」

夏休みが始まります。

つまり、子供がずっと家にいる、ということです。

これが、けっこううとうとし。朝、昼、晩とごはんを食べさせるだけでも大変です。「ええ～～！ また素麺かよお～～」などと言われると、カチンと来て当然です。特に働くママは帰宅すると、家の中をごちゃごちゃにされて、さらにお腹を出してグースカ寝ている子供を見るだけで、怒り心頭でしょう。

子供としても、親から言われることは「宿題やったの？」ばかりで、（うっせいわ）と思っているでしょう。

42日間戦争が始まります。

8月31日になると、へとへとでしょう。でも、ちょっとだけさみしかったりするかも知れません。

コロナ禍で、外出もままならないでしょうが、この42日間は二度とない夏なので、できれば一つでよいので、子供と一緒に思い出を作ってください。

私が以前、務めていた芝中央小学校で出していた学校だよりです。

42日間戦争の前にご一読いただけるとうれしいです。

川口市立芝中央小学校 学校だより「力芝」 平成29年9月1日

夏休み、楽しかった？



去年までは、一緒に遊んでくれた三男坊が中学に入り、さみしい夏休みでした。

私が休みの日は、部活か友達と遊ぶ約束が入り、お父さんは孤独でした。先輩から「中1までです。中1までですよ、息子と旅行に行けるのは」と去年、釘を刺されていながら、私自身の休みと息子の休みが重ならず、長期旅行は断念しました。それでも、ようやく息子の休みの日にサイクリングに連れ出すことができました。さいたま市ほぼ一周のサイクリングです。さいたま市はサイクリングロードが充実しています。お盆のため、街中もスイスイ漕ぐことができました。「さて、どこかで昼食を」とお店を探すも、お盆です。どこも休業中。ようやく一軒の中華料理屋を見つけ、汗だくになりながらも「よかったね～、開いてて」と冷たい水を

ガブガブ飲む息子は、まだ小学校7年生のようにあどけない。

さて、冷やし中華を頼んだのですが、これがちっとも美味しくない。と言うより冷やし中華のくせに、ぬるい。(こりゃ、失敗だ) と思って息子を見ると、頭の上に「？」マークを浮かべつつ、セットの半炒飯をかき込んでいます。

店を出て、再びペダルを漕ぎだそうとすると、息子が「お父さん、美味しかった？」と何度も聞いてくるのです。答えに困りました。せっかくの親子水入らずの外出です。全部、よい思い出にしたかったので、「不味かった」とは答えたくなかったわけです。

「まあ、あれだ、何を食べたかじゃないと思うんだ。誰と食べたかだと思う。カズ(三男坊はカズノリ)と食べたから、お父さんはそれでいい」と訳のわからないことを言うと、「そうだよね、そうだよね」と相槌を打ってくれるではありませんか。

(こいつ、親父に気を遣ってる……)

きっと来年は、こんなふうに関わり合えることもないかも知れません。

長い時間を一緒に過ごすことが叶わないのならば、一緒にいられるひと時を充実させよう。量より質だ。そう自分に言い聞かせつつも、やはり質より量だと思うのです。スペシャルなひと時より、ただ一緒にいる時間がたっぷりある方がよいのです。

二人で、ぼおっとテレビを眺めている時間がどれほど貴重か。

お父さん、お母さん、夏休みが終わりました。家でだらだらしていたお子さんが学校に行きます。ほっとされていらっしゃるでしょう。でも、昨日まで寝転んで、だらけていた子供がそこにはいないのは、少しだけさみしいですね。